

「たべとるマルシェ」・「認知症カフェ」の開催

岐阜県 恵那市中央図書館

基本データ

| | |
|----------------------|-----------------------|
| 所在地 | 岐阜県恵那市長島町中野 2丁目2番5 |
| 職員数 | 20人 |
| うち司書数 | 16人 |
| 蔵書数 | 約230,000冊 |
| 利用登録者数 | 約24,500人 |
| 年間貸出冊数 | 約315,000冊 |
| (児童用図書貸出数 約139,000冊) | |

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】連携

【活動のねらい】

- 市民に役に立つ図書館を目指し、恵那市で取り組んでいる事業をPRするとともに、今まで図書館に来たことがない人たちの来館を促す。

取組・活動の概要

(1) 「たべとるマルシェ」

【対象】来館者

【頻度】毎月第3土曜日

【活動内容】

- 農政課と連携した事業。図書館前、エントランスにおいて、地元で農業を行っている生産者が販売を通じて恵那の野菜などのPRを行う。

(2) 「認知症カフェ」

【対象】認知症の本人及びその家族

【頻度】年2回(春・秋)

【活動内容】

- 地域包括支援センターと連携した事業。図書館セミナールームにて、認知症の家族を中心とした集いの広場。

取組・活動の工夫や特徴

(1) 「たべとるマルシェ」

- 毎月第3土曜日と開催日を定めて、市民にマルシェの開催日の設定を周知。
- 開始当初から、店舗の配置や机・椅子を各自前で用意するなど、図書館員にイベントに伴う負担をかけずに実施できるように打ち合わせを行った。



たべとるマルシェ

(2) 「認知症カフェ」

- 認知症に関するブックリストの作成、認知症コーナーの設置、カフェでは主催者による本紹介など行ったり、回想法を実施。
- カフェのスタッフが自ら設置や周知を行っている。
- 図書館では認知症に関する本を揃え、カフェに来た方に利用を促すとともに、読み聞かせやスタッフによるおすすめ本の紹介など、本と結びつける仕組みを毎回相談して実施している。



認知症カフェ

【共通した工夫や特徴】

- 図書館という空間を利用して、市・市民に役に立つ図書館をめざしている。行政が進めている事業の一部が図書館でできないか検討し、担当課と打ち合わせするなどしている。
- 施設を使ってできるかぎり色々なことができる場の提供を考えている。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 「たべとるマルシェ」

- 毎月第3土曜日に設定することで、リピーターとして図書館に来館する人が増えた。また、市民と農家との交流や、市内で生産している野菜について周知することができた。

(2) 「認知症カフェ」

- 図書館に来たことがない方も、図書館という施設で行うことで、気軽に参加できる環境にあると考える。